

「平成28年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の推進地域の取組

拠点校名	本宮市立白沢中学校
推進協力校名	本宮市立糠沢小学校 本宮市立和田小学校 本宮市立白岩小学校

「白沢中学区子どものパワーアップ大作戦2016」

白沢中学校区内には、糠沢小学校、和田小学校、白岩小学校の3つの小学校があり、かねてから相互の授業参観や中学校教師による出前授業などで小中連携を図ってきたことから、中一ギャップによる不登校が0であるなどの成果を得ている。

このことから、幼児・児童・生徒が自信と自覚をもって自己実現を図ることができるように、幼児・児童・生徒を取り巻く学校等と家庭、地域が課題を共有し、それぞれの取組をつなぐ手立てを講じる必要がある。



取組の主な内容

事業内容 (1) ~ (8) を4つの視点で捉えた事業実践

- 【事業内容】 (1) 課題の明確化と共有化 (2) 学校ネットワーク作り  
(3) 授業研究・出前授業の実施 (4) 「わが町〇〇っ子学びのプラン」の作成  
(5) 「〇〇っ子学びの手引き」の作成 (6) 地域連携学習会の開催  
(7) 連携地域講演会の開催 (8) 家庭との連携

視点1 学力向上【事業内容 (1) (2) (3) (5) (6)】

- 幼保小・小小・小中連携授業研究会の実施
- 校内研修の活性化
- 先進校視察による情報の共有
  - ・ 茅ヶ崎市立浜之郷小学校へ
- 小学生の中学校訪問
- 中学校教師による小学校への出前授業の実施
  - ・ 指導助言：福島大学教授 佐久間 康之 様
- 本宮市教育委員会主催の教職員対象のパイオニア研修への参加



【異校種の先生方での研究協議・情報交換】

視点2 学習習慣・生活習慣の確立【事業内容 (4)】

- ノーメディアデー（メディアコントロールデー）の提言と推進
- リーフレット『白沢中学区子どものパワーアップ大作戦2016』の配付と実践の呼びかけ

白沢中学区

学習習慣・生活習慣の確立に向けて

子どものパワーアップ大作戦

- ◇幼稚園：3園
- ◇保育所：1所
- ◇小学校：3校
- ◇中学校：1校

12年間一貫した取組を実践  
⇒ 継続的な指導につなげている

視点3 家庭との連携

【事業内容 (3) (8)】

- 授業の公開
- 学校だよりの定期的な発行
- HPによる情報発信
- 「安達地方小中学校PTA研究大会白沢大会」の運営
- 情報モラル講座の実施
  - ・ 演題 「情報モラルを学ぼう」
  - ・ 対象 中学校への新入学予定の児童（小学校6年生）とその保護者
  - ・ 講師 教育センター主任実習講師 目黒 朋子 様

#### 視点4 今と未来をつなぐ【事業内容（7）】

- 職場訪問や職場体験の実施
- 学校支援ボランティアによる体験型授業の実施
- ボランティア活動の推進
- 読書活動の充実
  - ・ しらさわ夢図書館との連携  
読み聞かせ（月1回） 出張おはなし会 ブックトーク（学年1回） 移動図書館：あだたら号巡回 ドリーム文庫（配本・交換）
- 体験活動の充実
  - ・ 社会福祉協議会との連携  
ユニバーサルスポーツ体験 高齢者疑似体験 手話体験 車いす体験
  - ・ 生涯学習センターとの連携  
もとみやかるた 昔あそび体験 昔話 国際理解教育 人権教育（いじめ）  
情報モラル教育 箏と尺八鑑賞・体験 戦争体験講話 茶道体験
  - ・ 教育委員会との連携  
「夢の教室」通称「ユメセン」 ゲストティーチャー招聘による夢の授業  
文化芸術による子供の育成事業（巡回講演）東京打撃団〔和太鼓〕のワークショップと体験



〔東京打撃団の演奏〕

## 成果と課題

### 成果

- 中学校では、言語活動の充実を現職教育の研究テーマに設定して実践を行った。また、小学校でも、説明し合うことをテーマに授業実践を行っている。お互いに授業を提供し合い、協議会で話し合うことで新たな気づきが生まれ、授業改善と教師の指導力向上の一助になっている。
- 3学期に中学校の教師が小学校に出向き、6年生を対象に出前授業を行った。他にも様々な幼保小・小小・小中・幼保中交流を行ったことが、小一プロブレムや中一ギャップの解消に大いに役立っている。
- 『白沢中学区子どものパワーアップ大作戦2016』について、各学校の職員を推進委員とする「学力向上委員会」「生徒指導委員会」「体力向上委員会」で見直しを行った。発達段階に応じた幼児・児童・生徒のめざす姿と目標行動についての“見える化”が図られ、幼保小中で共有できた。また、幼保小中それぞれの校種から保護者に配付され、保護者への啓発がなされた。
- 各学校等のPTAが中心となり「ノーメディアデー（メディアコントロールデー）」を提言し、実施を呼びかけた。
- 「平成28年度安達地方小中学校PTA研究大会白沢大会」を周知し研修を行った。元来、PTAの方々の参画意識は高く、一大行事を地区が一体となって成功させようという士気が感じられた。
- 現在と未来をつなぐキャリア教育として地域の職場訪問や職場体験学習を実践し、児童生徒の職業への興味・関心の喚起に役立っている。また、外部講師を招聘して社会人としての生き方や職業選択についての講話を聞いたことで、将来に大きな希望や夢をもつきっかけとなった。
- 様々な事業所とタイアップした体験活動は、実体験ならではの生きた学びがあり大変充実していた。

### 課題

- 公開授業の教科に限られるためすべての教員の研修には至らなかった。
- 「ノーメディアデー（メディアコントロールデー）」の推進は、学校行事等の関係から、各校それぞれの取組とした。次年度はすべての幼児・児童・生徒・保護者を対象として実施強化時期を決めて実施するなど、提言内容の浸透をさらに図っていきたい。
- パワーアップ大作戦の項目についての実態調査が不十分である。年度初めと年度終わりにアンケート等を行い実態把握をするとより効果的であると思われる。アンケートの実施方法等を精査する。



### まとめ

それぞれの学校等で行っていることを互いの情報として共有し、コーディネートしていくことが幼児・児童・生徒の今をつなぎ、未来をつないでいくことになる。保護者・地域・行政等が足並みをそろえて幼児・児童・生徒の教育に全力をあげて取り組む時、学校の果たす役割はさらに重要になる。

めざす姿

小・中 自分のよさや可能性を発見し、夢、希望に向かって取り組む子ども

幼児 自分なりの力を発揮し、様々な環境に主体的にかかわり夢をもっている子ども

	幼 児	小 学 生	中 学 生
生活のしかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝早起きができるようになる。</li> <li>○あいさつが言えるようになる。 「おはようございます」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさま」「いってきます」「ただいま」「こんにちは」「こんばんは」</li> <li>○返事が言える。 「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」</li> <li>○相手の顔を見て話したり、聞いたりすることができる。</li> <li>○3食をよくかんでしっかり食べる。</li> <li>○衣服の着脱、歯磨きなどを自分でする。</li> <li>○約束を守ることができる。</li> <li>○友だちと仲良くできる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝早起きができる。</li> <li>○あいさつと返事が元気よくできる。</li> <li>○相手を思いやる話し方・聞き方ができる。</li> <li>○好きな食べ物だけでなく、栄養バランスを考えて、食べることができる。</li> <li>○自分にできること(身じたく・手伝いなど)を毎日続けて行う。</li> <li>○きまりや約束を知って、必ず守る。</li> <li>○安全に気をつけて友だちと遊ぶ。</li> <li>○テレビやゲーム・インターネットは決められたルールを守って利用する。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝早起きができる。</li> <li>○あいさつと返事が元気よくできる。</li> <li>○自分の考えをもって相手の話を聞く。</li> <li>○言葉を選んで相手を思いやった話ができる。</li> <li>○自らの健康を考えて、バランスよく食事を摂ることができる。</li> <li>○規則正しい生活習慣を意識して生活する。</li> <li>○スマートフォンやタブレット、インターネットの使用について、メディアコントロールできる。</li> </ul> 
勉強のしかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を使って元気に遊ぶ。</li> <li>○遊びを通して良いことと悪いことが分かる。</li> <li>○「なぜ」「どうして」と考え、ためすことができる。</li> <li>○お話を最後まで聞くことができる。</li> <li>○ことばあそびなどを楽しむ。</li> <li>○絵本に親しみ喜んで聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習用具を自分でそろえる。</li> <li>○家庭学習で、わからないところをいろいろな方法を使って調べることができる。(友だちや家族に聞く。本で調べる。)</li> <li>○「学年×10分+10分」の家庭学習に取り組むことができる。</li> <li>○マンガ以外の本を月に1冊以上読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な目標と将来の目標をもって計画的に勉強することができる。</li> <li>○1年90分、2年100分、3年110分以上の家庭学習に取り組む。</li> <li>○月に1冊以上読書をし、幅広い教養を身に付ける。(朝読10分、家読20分)</li> </ul>

みんなで守ろう！ 水曜日は ノーメディアデー

保護者の子どもへの関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝・早起きができる生活をさせる。(「每晚8時30分までには布団に入る」など具体的な時間を示してあげる。)</li> <li>○子どもにきちんと3食好き嫌いなく食べさせる。</li> <li>○親の生活時間に、子どもを合わせない。</li> <li>○正しい言葉遣いを常に心がける。</li> <li>○繰り返す悪い行為はその場でしっかり叱る。</li> <li>○がまんすることを教え、親も子どもの手本になるよう行動する。</li> <li>○いつも笑顔で接したり、抱きしめたりしながらスキンシップを十分に図る。</li> <li>○幼児期の言葉の発達のためにことばあそび(ことばあそびの本など)を行う。</li> <li>○テレビは内容と視聴時間を決めて観せる。</li> <li>○ゲームはできるだけやさせない。</li> <li>○たくさんの絵本を読み聞かせする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉による教えとともに、手本となるしっかりした姿を見せる。</li> <li>○褒めて励まし、認めて伸ばす</li> <li>○子どもにきちんと好き嫌いなく食べさせる。</li> <li>○悪いことはしっかり叱る。</li> <li>○子どものわがままや過度の甘えに毅然とした態度で接する。</li> <li>○テレビやゲームの約束は、守れなかったらどうするかルールを子どもと決めて必ず守らせる。</li> <li>○スマートフォンやタブレット、インターネットの使用による危険性を学び、ネット上のルールやマナーを親子で話し合う。</li> <li>○「手を離しても目を離さず、目を離しても心を離さず」の心構えで子どもと向き合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親も教師も勉強を続け、子育てや指導を改善する。</li> <li>○褒めて励まし、認めて伸ばす。</li> <li>○普段から何気ない会話(学校生活・部活動・異性・将来設計についてなど)を交わす。</li> <li>○スマートフォンやタブレット、インターネットの使用による危険性を学び、ネット上のルールやマナーを親子で話し合う。</li> <li>○子どもを信頼し、成長を支える。</li> </ul> 
---------------	---	---	---